

12月号 (76-12) 著者プロフィール

1. 出身地
2. 出身高校
3. 出身大学
4. 研究テーマ
5. 最近思うこと
6. 信条
7. 最近、感銘を受けた1冊
8. 趣味
9. ごひいきの球団, チーム, 番組
10. ホームページ

●2021年ノーベル賞特別解説〔化学賞〕：第三の不斉触媒“有機分子触媒”の誕生と発展



秋山 隆彦 (あきやま たかひこ)
学習院大学理学部化学科 教授

3. 1985年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了
4. 有機合成化学, 有機分子触媒化学
8. 旅行, 歴史小説を読むこと

●2021年ノーベル賞特別解説〔化学賞〕コラム：List先生のお人柄



兵藤 憲吾 (ひょうどう けんご)
近畿大学理工学部理学科 講師

1. 愛知県
2. 愛知県立豊田西高等学校
3. 2013年名古屋工業大学大学院博士課程修了
4. 環境調和型の有機合成手法の開発
5. 週末の子どものお世話
6. あきらめたらそこでおしまい
7. 浦沢直樹 作画, 浦沢直樹・勝鹿北星・長崎尚志 脚本『MASTER KEATON』(小学館)
8. スポーツ観戦
9. ロサンゼルス・エンゼルス
10. <https://www.chem.kindai.ac.jp/laboratory/hyodo/>

●2021年ノーベル賞特別解説〔化学賞〕コラム：MacMillan先生のお人柄



近藤 健 (こんどう まさる)
茨城大学大学院理工学研究科 助教

1. 愛知県岡崎市
2. 愛知県立刈谷高等学校
3. 2017年名古屋工業大学大学院博士後期課程修了
4. 光化学を基盤とする有機合成化学
5. 面白い反応と触媒のデザイン
6. 化学には正直でありたい
7. 黒木登志夫 著『研究不正——科学者の捏造、改竄、盗用』（中公新書）
8. ラーメン屋巡り，温泉地巡り
9. トロント・ブルージェイズ
10. <http://newreaction.biochem.ibaraki.ac.jp/>

●2021年ノーベル賞特別解説〔物理学賞〕Part1：気候の物理的なモデル化と変動の定量化から



稲津 将 (いなつ まさる)
北海道大学大学院理学研究院 教授

1. 北海道岩見沢市
2. 北海道立岩見沢東高等学校
3. 2002年北海道大学大学院地球環境科学研究科博士後期課程修了，博士（地球環境科学）
4. 気象力学，応用気象学
10. <https://humet.sci.hokudai.ac.jp/~inaz/index.html>



野沢 徹 (のざわ とおる)
岡山大学学術研究院自然科学学域 教授

1. 静岡県
2. 静岡県立浜松北高等学校
3. 1996年京都大学大学院理学研究科博士後期課程研究指導認定退学，1997年博士（理学）

4. 長期気候変化のメカニズム解明
8. スポーツ観戦

●2021年ノーベル賞特別解説〔物理学賞〕Part2：レプリカ対称性の破れの発見とその広がり



樺島 祥介 (かばしま よしゆき)
東京大学大学院理学系研究科 教授

1. 大阪府
2. 大阪府立四條畷高等学校
3. 1993年京都大学大学院理学研究科博士後期課程中途退学, 1994年博士(理学)
4. 統計力学, 情報理論, 機械学習
5. 情報量概念を用いた生命現象の特徴づけ
6. 臨機応変, 創意工夫
7. 半籐一利 著『昭和史——1926-1945』(平凡社)
8. ゆっくり走ること
10. <https://kaba-lab.org/>

●2021年ノーベル賞特別解説〔生理学・医学賞〕：温覚と圧・触覚の受容体の発見



森 泰生 (もり やすお)
京都大学大学院工学研究科 教授

3. 1989年京都大学大学院医学研究科博士課程単位取得退学, 博士(医学)
4. 脳神経系のチャネルの分子実体決定と機能同定および形質膜上への分布制御機構の解明
8. 『ゴルゴ13』などの読書, ダム貯水量のチェック



原 雄二 (はら ゆうじ)
静岡県立大学薬学部薬科学科 教授

3. 2002年総合研究大学院大学博士課程修了, 博士(理学)
4. 細胞力覚を基軸とする骨格筋再生機構の解明
8. 最近始めた料理づくり, 将棋のタイトル戦鑑賞

●2021年ノーベル賞特別解説〔生理学・医学賞〕コラム：トウガラシ、カプサイシン研究の先駆者 岩井和夫先生



左右田 健次 (そうだ けんじ)

京都大学名誉教授

1. 愛知県額田郡幸田町
2. 愛知県立岡崎高等学校
3. 1956年京都大学農学部卒業, 1961年博士(農学)
4. 微生物生化学, 酵素科学
5. 生命とキラリティーの誕生
6. 「良き思い出を」
7. シェイクスピア 著, 喜志哲雄 訳『から騒ぎ』(岩波文庫)
8. 登山, 観劇

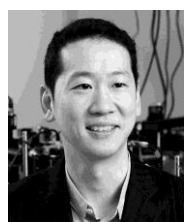
●解説：ナノ材料を狙った位置へ正確に配置！



大塚 慶吾 (おおつか けいご)

東京大学大学院工学系研究科 助教

1. 群馬県みなかみ町
2. 群馬県立沼田高等学校
3. 2018年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了, 博士(工学)
4. 電子デバイスのためのカーボンナノチューブ合成制御
5. 流行りに流されず淡々と研究をしたい
6. 筋肉と自分は裏切らない
8. ウェイトトレーニング
9. よいプレーを平等に応援
10. <https://sites.google.com/site/keigootsukajp>



加藤 雄一郎 (かとう ゆういちろう)

国立研究開発法人理化学研究所開拓研究本部

加藤ナノ量子フォトンクス研究室主任研究員

1. 東京都
2. 慶應義塾湘南藤沢高等部

3. 2005年カリフォルニア大学サンタバーバラ校物理学科博士課程修了, Ph.D. (Physics)
4. ナノ物質の光物性, ナノ光デバイス物理, 光量子デバイス
6. 人生に無駄はない
8. スキー, 吟醸酒, クラフトビール
10. <https://katogroup.riken.jp/ja/>

●カガクへの視点



西田 まゆみ (にしだ まゆみ)

北海道大学触媒科学研究所 教授

産業技術総合研究所触媒化学融合研究センター

クロスアポイントメントフェロー

1. 東京都
2. 桜蔭学園高等学校
3. 1979年筑波大学第1学群自然科学類化学専攻卒業, 1992年博士(薬学)
4. CO₂を原料とするSILP (Supported Ionic Liquid Phase) 触媒を用いた逆水性ガスシフト反応およびヒドロホルミル化反応の開発
5. 最近考えることといえば, 新型コロナの影響で起きている社会生活の変化があります. コロナ以前に戻るには時間がかかりそうですので新しい生活形態のなかに少しでも楽しんでできることを探しています.
6. 悠々自適
7. C・W・ニコル 著『ザ・ウイスキーキャット』
8. 太極拳, 社交ダンス
9. ロサンゼルス・エンゼルス
10. <http://www.cat.hokudai.ac.jp/technological.html>

●研究会へようこそ! : 高分子学会「高分子ゲル研究会」



竹岡 敬和 (たけおか ゆきかず)

名古屋大学大学院工学研究科 准教授

3. 1996年上智大学大学院理工学研究科博士後期課程修了
4. 高分子ゲル, エラストマー, バイオマテリアル, バイオインスパイアード材料, 構造発色性材料
8. 絵画鑑賞